

技術評価認定書

評価認定対象技術：ポカラ式雨水地下貯留施設

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2020年1月1日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会

会



佐藤直良



1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制及び浸透施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 実用上必要な強度、耐久性を有すると認められる。
- (3) 常時荷重及びレベル1、レベル2に相当する地震動に対して、必要な構造耐力を有すると認められる。
- (4) 施設の維持管理が確実にできると認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には、事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、施工要領等に従い適正な施工管理のもとで行われるものである。

3. 評価認定有効期限

自 2020年1月1日 至 2024年12月31日

4. 申請者

株式会社 ジョイント

住所 大阪府大阪市北区堂山町10-15 天神ビル3F

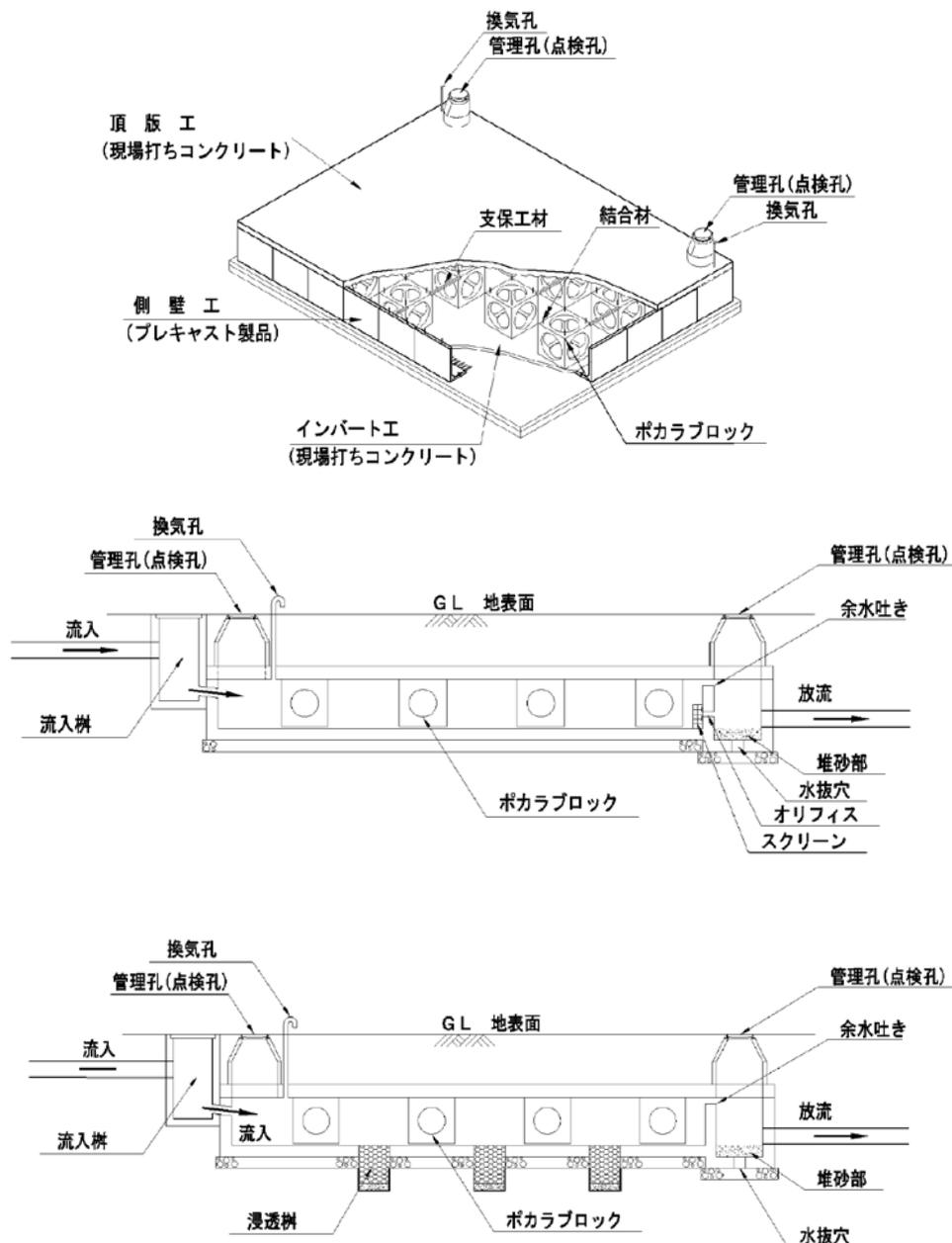
1. 評価認定の対象技術

評価申請者 平和コンクリート工業 株式会社、株式会社ジョイント

対象技術 ポカラ式雨水地下貯留施設

技術の概要 ポカラ式雨水地下貯留施設は、立方体のポカラブロック、貯留深さを調整する十字ブロックのプレキャスト製品と、底版、側壁、頂版の現場打ち鉄筋コンクリートとを組み合わせることで構築される。常時及び地震時の土圧荷重を底版、側版、頂版の現場打ち鉄筋コンクリートで抵抗し、プレキャスト製品は、頂版を支える柱で鉛直荷重に対して抵抗する。

プレキャスト製品と自在に成形できる現場打ち鉄筋コンクリートとを効率良く組み合わせることにより、敷地形状や貯留空間に対して効率よく施設を構築することができ、併せて経済性に長けた施設である。



2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月1日施行）に基づき、平和コンクリート工業株式会社が開発したポカラ式雨水地下貯留（浸透）施設について評価を行うものである。

3. 評価の範囲

評価の範囲は、プレキャストコンクリート製品と現場打ち鉄筋コンクリートの組み合わせによる雨水地下貯留施設を構築する技術とする。

4. 評価内容

評価にあたり、具体的な評価の内容を以下に示す。

① 機能性

ポカラ式雨水地下貯留施設は、雨水流出抑制施設として、雨水を一時貯留及び浸透させて下流河川等への洪水流出の抑制等を可能にするものである。地下貯留施設を構成するプレキャストブロックは形状が単純で、その組み合わせの容易さや、自在に成形できる現場打ち鉄筋コンクリートと組み合わせることで、複雑な構築形状にも柔軟に対応することができる。これにより本施設は雨水流出抑制施設としての機能を十分に確保できるものである。

② 強度および安全性

設計条件を十分に満たすように構造設計が行われており、常時荷重およびレベル1地震動、レベル2地震動の作用に対して必要な構造耐力が確保されている。また、変形、脱落、沈下等に対しても十分検討されている。

③ 耐久性

本工法に用いた雨水貯留施設を形成する主要構造体の原料であるコンクリートと副資材は土木分野における数多くの実績やJISをはじめとする各種規格・基準によってそれぞれ適切な耐久性を有していることがすでに証明されている。

④ 維持管理性

維持管理を容易かつ確実に行うために、管理孔（点検孔）、スクリーン、内部通路等を必要箇所に設置するとともに、維持管理基準を設けている。

7. 留意事項および付言

- ① ポカラ式雨水地下貯留施設の製造にあたっては、適正な品質管理のもとで行うこと。
- ② ポカラ式雨水地下貯留施設の設計、施工、及び維持管理にあたっては、評価編及び資料編に示す設計方法、施工方法及び維持管理方法に基づいて行うこと。
- ③ 構造と耐震性能については有限責任中間法人社会基盤技術評価支援機構・中部の「平成19年度コンクリート製雨水貯留槽の設計検討委員会報告書」によるものとする。